

大規模自然災害

今回、台風15号による家屋倒壊や停電被害また台風19号による河川の越水決壊による家屋の浸水被害そして台風21号の影響で低気圧が活発になり1日で一月以上の降水量をもたらした。河川の氾濫土砂災害をもたらすことになりました。亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

なられた方もいらっしゃるかもしれません。そのような復旧作業の最中に台風などの大雨が次々と襲い、被災者に追い打ちをかけるような出来事でした。

東日本大震災の津波被害以降、各自治体によりハザードマップを見直し被害を防ぐよりも人命を最優先に確保する避難対策として作られるようになってきました。ですが、先日の台風21号の影響による豪雨に際し、千葉市緑区の土砂災害はハザードマップには掲載されていなかったところでした。今までに経験のない膨大な雨量によるところが大きいのでしようが、自治体には今後の課題が浮き彫りになったのかも知れません。

本来、台風が日本列島に近づくと海面温度が低くなるため勢力が衰えるそうです。ですが、近年温暖化現象の影響で日本近海の海面温度が上昇して、発達した台風が勢力を維持したまま日本列島を襲うケースが多くなっています。数十年に一度と言われた台風が、今後毎年のように襲う可能性があるかも知れません。

千葉県では、台風15号の強風による停電被害の確認が進まず、復旧にも時間がかかり、二次災害ともいえる熱中症によりお亡くなり



東日本大震災の際、いち早く救援活動で現地に行かれたのは阪神・淡路大震災を経験した方々と聞いています。今回の災害でも多くのボランティアの方々の姿をニュース等で目にします。東日本大震災の被災地でアジア初のラグビーワールドカップの開催となった日本の釜石市で、台風19号の影響で試合が中止となりましたが、カナダの選手たちがボランティアで汗を流している姿がニュースで流れていました。国や人種にとらわれず助け合う事の大切さを学んだ気がします。

東日本大震災の際、いち早く救援活動で現地に行かれたのは阪神・淡路大震災を経験した方々と聞いています。今回の災害でも多くのボランティアの方々の姿をニュース等で目にします。東日本大震災の被災地でアジア初のラグビーワールドカップの開催となった日本の釜石市で、台風19号の影響で試合が中止となりましたが、カナダの選手たちがボランティアで汗を流している姿がニュースで流れていました。国や人種にとらわれず助け合う事の大切さを学んだ気がします。

文・永山

事業活動で社会貢献

私たち「こころの風」は、持続可能な社会を次世代に引き継ぎたいと考え、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマに、社会貢献活動に取り組んでいます。企業の中の個々人は、企業の理念をよく理解し、その行動指針を身をもって実践していくべきであると考えています。我々は、企業としての考え方に基づき、ごみの分別、周辺の掃き掃除、ペットボトルキャップの回収等、個々人が率先して地域社会のために活動しています。今、日本企業の多くが取り組んでいる社会貢献活動は「環境保護」です。その内容は、環境汚染の防止・生物の保護・植林活動などです。ご葬儀には必ず火葬があります。それによって使用されるエネルギー（灯油等）一回につき排出される温暖化ガスは、ひとりの人間が一年間に呼吸する量に匹敵します。その排出量を吸収し、より多くの酸素を地球上に供給するため、私たちは積極的に植林活動を続けてい



ます。このような活動は、「慈善活動をやっているだけ」と思われがちです。しかも直接利益を生まないため、たとえ思いついても計画し、実行するには相当な調整とパワーが必要で、何よりも社会貢献への強い意志が必要となります。ここ数年の異常気象は少なからず温暖化の影響があると言われております。未来とはそう遠くない未来のことで、今現在、我々が暮らしているこの世界に、こうした活動は大きな意味があると私たち「こころの風」は考えています。身近にいらっしゃる「大切な」方のため。そう考えると皆さまも参加されたいと思うのではないのでしょうか。

長期の視野が必要ですが、いまから私たちが始めてみませんか？
文・本山

2019年9月 これから楽交@東京ベイ レポート

9月28日（土曜日）終活セミナーとフラワーアレンジメントの2部構成でこれから楽交を開催しました。

終活セミナーは「相続のキホン」をテーマに、深川よろず相談所・税理士 星山 輝 先生・税理士 新井 康友 先生を講師にお迎えしてお話しを伺いました。

平成27年の相続税大改正により相続のかからない基礎控除の額が大きく引き下げられ、相続税が身近な問題となってきました。誰にでも起こる相続の問題、文字だけ見ると難しい問題も講師の先生より資料配布と説明を受け具体的に理解頂けたようで、終了後には質問も相次ぎました。質問をいただくことは今まであまりないと、講師の先生も意外性に喜ばれていらっしゃいました。



「フラワーアレンジメント講座」は秋らしい生け花。花材はススキ、りんどう、ケイトウ、ピンポンマム、唐辛子、ポリシャス、カーネーション。和モダン風な花材です。りんどうの青紫、ケイトウ、唐辛子の赤にグラデーションのカーネーションとピンポンマム、それにポリシャスの緑の爽やかな感じ、最後にススキの秋感で仕上げ完了。という趣のあるフラワーアレンジメントでした。ご参加いただいた皆さまは席に着かれると間もなく積極的に始められ、いつもよりさらに短時間で上手にご一緒の時間を楽しんでいた様子でした。次回は11月30日（土曜日）、今年最後のこれから楽交を開催いたします、お楽しみに！



明日も元気に ~早めのインフルエンザ対策で冬に備えを~

毎年この時期になるとインフルエンザやノロウイルスなどの感染症の話題をよく聞きます。インフルエンザやノロウイルスなどのウイルスは低温で空気が乾燥していると活発になるそうです。人は寒くなると体温の低下、空気の乾燥などの影響で免疫力が低下し病気になるやすくなります。外出後は手洗いやうがい等で予防し、さらに予防接種が効果的です。



旬の食彩 ~鰻(うなぎ)~

天然うなぎは冬眠に向けて養分を蓄える秋の終わりから冬の初めにかけてが美味しい時期です。真夏の土用の時期にうなぎを食べる習慣が定着していますが、それは平賀源内がうなぎ屋に夏の売上の落ち込みを相談されて提案したキャンペーンと言われてます。うなぎには、ビタミンA、ビタミンB1、ビタミンB2が含まれています。最近が高価になりましたが、機会がありましたら旬のうなぎを是非とも、ご堪能してみてください。

